

聞くことでみる、ベトナムの今。

Han hanh don chao

ハノイ・ベトナムフェア
Hanoi-Vietnam Fair
タイアップ企画

2009年10月11日 日 九州国立博物館 1F
ミュージアムホール

第1部／13:00～13:40 (40分) 「ベトナムの貿易陶磁」
13:40～14:20 (40分) 「ベトナム文化の特徴」
第2部／14:30～15:30 (60分) 「世界遺産 ベトナム・ホイアンの魅力」
第3部／15:40～16:40 (60分) 「九博所蔵文書から見るベトナム史」

※詳しい内容は裏面をご覧ください。

主催：文化庁・福岡県地域文化芸術振興プラン実行委員会・九州国立博物館国際交流事業実行委員会

文化力

文化力
POWER OF
CULTURE

KYUSHU NATIONAL MUSEUM

九州国立博物館
<http://www.kyuhaku.jp>



聞くことでみる、ベトナムの今。

ハノイ・ベトナムフェア
Hanoi-Vietnam Fair
タイアップ企画

文化講演会

定員300名【当日先着受付】

プログラム

司会／博物館科学課 保存修復室長 藤田 励夫

※プログラムは都合により、予告なく変更となる場合があります。

第1部 「ベトナム歴史博物館の研究者によるベトナム文化紹介」

13:00～13:40 (40分) 「ベトナムの貿易陶磁」 “The Vietnamese Ceramics with international business (marine)” ベトナム歴史博物館副館長 Dr. Nguyen Dinh Chien (グエン ディン チエン氏)	13:40～14:20 (40分) 「ベトナム文化の特徴」 “Some features of Vietnamese culture” ベトナム歴史博物館 Ms. Nguyen Thi Thuy Ha (グエン ティ ツイ ハー氏)
--	--

ベトナム歴史博物館は、1958年9月3日にフランス政府により運営されていた博物館を再開する形で開かれた国立の博物館です。先史時代から近代に至るまで、ベトナムの歴史が年代を追って紹介されています。当館の4階文化交流展「かね♪すず♪たいこ」において、映像で紹介しているドンソン銅鼓に代表される銅鼓のコレクションや、彫刻、工芸品など素晴らしいコレクションを所蔵しています。今回、このベトナム歴史博物館から2名の研究者を招聘し、「ベトナムの貿易陶磁」と「ベトナム文化の特徴」をテーマに講演を行っていただきます。



第2部 世界文化遺産 ベトナム・ホイアンの魅力

[14:30～15:30 (60分) 昭和女子大学国際文化研究所客員研究員 阿部 百里子氏]

世界の東西を結ぶ海のシルクロード。その拠点であった、ベトナム中部の港市ホイアンには、17世紀、日本の朱印船が多数寄港し、日本と世界を結ぶ国際商業都市として大いに賑わっていました。ホイアンには多くの日本人が移住し、日本町もつくられていました。異国にわたった彼らは、どのような生活をしていたのでしょうか。そして、鎖国後はどうなったのでしょうか。現在のホイアンの町には、日本人が架けたという伝承が残る橋や日本人の墓などとともに、地中には多くの日本の陶磁器（伊万里焼き）が残されています。また、18世紀以降建てられた伝統的な木造家屋が多数現存し、その町並みと生活文化が、世界文化遺産に登録されています。本講演では、ホイアンにおける最新の発掘調査成果や、日本に残る資料から見てきた往時のホイアンの様相とその盛衰について、そして日本とベトナムの交流の歴史についてご紹介します。

第3部 九博所蔵文書から見るベトナム史

[15:40～16:40 (60分) 京都大学東南アジア研究所研究員 蓮田 隆志氏]

九州国立博物館には、多くはないながらもベトナムの文化財も収集されています。本講演では、収蔵品である「ベトナム村落関係文書」を取り上げ、これらの文書が作成された後期黎朝から阮朝までの歴史(17～20世紀)について紹介します。九博が所蔵するベトナム村落文書は勅sac(サク)と呼ばれる種類の文書です。これは国家が村落や宗教施設などに対して、特定の神の祭祀を行うことを認可したり、祭神に位を授ける文書である。これは主に村落の集会所や宗教施設に保存され、現在でも特に北部・中部の村落では多く残存しています。王朝が皇帝の名のもとに村落レベルでの祭祀にお墨付きを与えることは何を意味するのか、また村落の側ではどのように受け止めていたのでしょうか。そもそも「祀られている神々」はどのような神なのでしょうか?このような問題を文書を読み解きながら考えてみたいと思います。



あべ とも子
[阿部 百里子氏]

学歴

川村学園女子大学文学部史学科卒業/昭和女子大学大学院生活機構研究科修士課程修了/東京大学大学院総合文化研究科博士課程在学中

現在の所属

昭和女子大学国際文化研究所客員研究員/川村学園女子大学非常勤講師



はすだ たかし
[蓮田 隆志氏]

学歴

横浜国立大学教育学部卒/大阪大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学/日本学術振興会特別研究員、大阪大学COE特任研究員などを経て

現在の所属

京都大学東南アジア研究所研究員/桃山学院大学・大阪大学非常勤講師

専門

近世ベトナム史

交通のご案内



駐車場(有料)に限りがあります。
ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。